

令和7（2025）年度

大学院学生募集要項

仏教学研究科

一般選抜試験

編入学試験

国際仏教学大学院大学

目 次

令和7（2025）年度 仏教学研究科（五年一貫制博士課程）入試要項

受験要領

1. 一般選抜試験.....	1
2. 編入学試験.....	2
3. 出願の手引き.....	3
4. 入学の手続き.....	6
本学の理念.....	7
本学の3つの方針.....	7

仏教学研究科案内

1. 仏教学研究科の概要.....	8
2. 授業科目と担当教員.....	8

奨学制度

1. 本学の奨学制度.....	10
2. 本学以外の奨学制度.....	10
宿泊施設.....	11
個人情報の取り扱いについて.....	12

※不明な点や詳細については、本学事務局教務・学生課までお問い合わせください。

Tel. 03-5981-5271（代表） E-mail: student@icabs.ac.jp

受験要領

令和7（2025）年度学生募集では、次の試験を実施します。

- (1) 一般選抜 第1年次（修士課程に相当）への入学希望者を対象とする試験
- (2) 編入学 第3年次（博士後期課程に相当）への編入学希望者を対象とする試験

1. 一般選抜試験

【専攻・募集人員】

専攻	募集人員	
	第Ⅰ期募集	第Ⅱ期募集
仏教学	4名	若干名

【試験科目・時間帯・試験会場】（第Ⅰ期募集、第Ⅱ期募集共通）

集合、受験に際しての説明（9：30～）		
筆記試験		面接 (14：00～)
外国語 (10：00～11：35)	専門科目 (11：40～13：10)	
1. 専門に関する語学： サンスクリット語または漢文を選択 2. 一般語学： 英・仏・独語のうち1カ国語を選択	仏教学および仏教史	

試験会場： 本学

※外国人留学生の場合は、「一般語学」の「英・仏・独語」に代えて「日本語」の試験を行います。但し、公益財団法人日本国際教育支援協会が行う日本語能力試験1級若しくはN1取得者については、試験を免除します。なお、外国人留学生の出願資格については、3ページを参照してください。

※外国語の試験では辞書を持ち込むことができます。(但し、電子辞書を除く)

※過去の入学試験問題については、本学事務局にて閲覧することができます。

※食堂はありませんので、昼食は持参してください。(最終試験が終了するまで校舎から出ることはできません。)

【入試日程】

	第Ⅰ期募集	第Ⅱ期募集
出願期間	2024年 9月 2日(月) ～ 9月17日(火) 必着	2025年 2月 3日(月) ～ 2月17日(月) 必着
試験日	2024年 9月25日(水)	2025年 2月26日(水)
合格発表日	2024年10月 3日(木) 午後1時	2025年 3月 6日(木) 午後1時
入学手続期間 (第1次)	2024年10月 4日(金) ～ 10月11日(金)	2025年 3月 7日(金) ～ 3月14日(金)

【入学検定料】 30,000円（第Ⅰ期募集、第Ⅱ期募集共通）

【入学時期】 2025年 4月（第Ⅰ期募集、第Ⅱ期募集共通）

2. 編入学試験

【専攻・募集人員】

専攻	募集人員	
	第Ⅰ期募集	第Ⅱ期募集
仏教学	若干名	若干名

【試験科目・時間帯・試験会場】（第Ⅰ期募集、第Ⅱ期募集共通）

集合、受験に際しての説明（9：30～）	
試験科目	面接 （午前10：00～）

試験会場： 本学
※面接試験の時間は、変更になることがあります。
その場合、受験者に通知します。

【入試日程】

	第Ⅰ期募集	第Ⅱ期募集
出願期間	2024年 9月 2日（月） ～ 9月17日（火） 必着	2025年 2月 3日（月） ～ 2月17日（月） 必着
試験日	2024年 9月25日（水）	2025年 2月26日（水）
合格発表日	2024年10月 3日（木）午後1時	2025年 3月 6日（木）午後1時
入学手続期間 （第1次）	2024年10月 4日（金） ～10月11日（金）	2025年 3月 7日（金） ～ 3月14日（金）

【入学検定料】 30,000円（第Ⅰ期募集、第Ⅱ期募集共通）

【入学時期】 2025年 4月（第Ⅰ期募集、第Ⅱ期募集共通）

3. 出願の手引き

(1) 出願資格

【一般選抜試験出願者】

1. 大学を卒業した者（2025年3月卒業予定者を含む）
2. 学校教育法第68条の2第3項の規定により学士の学位を授けられた者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
4. 文部科学大臣の指定した者
5. 大学に3年以上在学し、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
6. 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者
7. 本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

注1: 他の大学院の修士課程修了者あるいは博士課程満期退学者であっても、出願することができます。

その場合には、

- 1) 他の大学院における履修単位の一部を本学の単位として認定することも可能です。
- 2) 成績優秀な者については、所定の在学期間を短縮して、学位論文を提出することができます。

注2: 出願資格3、5～7のいずれかに該当する者及び日本に居住している外国人留学生については、本研究科において出願資格を審査します。志望者は事前に本学事務局に問い合わせ、審査のために必要な書類(次ページ「(2)出願書類」の2～10、12、13のうち、該当する書類及び本研究科が指定する書類)を提出してください。

提出期限 第Ⅰ期募集 2024年9月5日(木)

第Ⅱ期募集 2025年2月6日(木)

【編入学試験出願者】

1. 修士の学位を有する者（入学時まで取得見込みの者を含む）
2. 外国において修士の学位またはこれに相当する学位を授与された者
3. 本大学院において、個別の審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時において24歳に達した者

注1: 他の大学院の修士課程修了者あるいは博士課程満期退学者であっても、一般選抜試験に出願することができます。【一般選抜試験出願者】の注1を参照してください。

注2: 出願資格3に該当する者及び日本に居住している外国人留学生については、本研究科において出願資格を審査します。志望者は事前に本学事務局に問い合わせ、審査のために必要な書類(次ページ「(2)出願書類」の2～10、12、13のうち、該当する書類及び本研究科が指定する書類)を提出してください。

提出期限 第Ⅰ期募集 2024年9月5日(木)

第Ⅱ期募集 2025年2月6日(木)

(2) 出願書類 【一般選抜試験・編入学試験共通】

下記の表に掲げる書類のうち、該当するものを提出してください。(大学院修了者及び外国人留学生は、「全出願者共通」欄の書類に加えて、各々に該当する書類を提出することになります。)

	出願書類	全出願者共通	大学院修了者	外国人留学生	注意事項
1	入学志願票・受験票*	○			<p>① 本学所定用紙を使用してください。</p> <p>② 記入上の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験区分欄の一般は一般選抜試験、編入は編入学試験を表す。また、I期は第I期募集、II期は第II期募集を表す。自分が受験する試験に該当するものを○で囲んでください。 ・※印のある箇所には記入しないでください。 ・文字は楷書で、数字はすべて算用数字で記入してください。 ・選択する項目については、その左側の該当する番号を○で囲んでください。 ・専門語学は、専攻する分野を考慮して選んでください。 <p>③ 入学志願票に貼る写真(カラー)は、タテ4cm×ヨコ3cm(枠なし)で、願書受付日3カ月以内に撮影した写真とします。</p> <p>④ 入学検定料振込依頼書は、必要事項を記入のうえ、切り離さずに銀行窓口へ入学検定料を添えて提出してください。</p> <p>⑤ 検定料納入後、A・B・C票を受け取ったら、B・C票の収納印を必ず確認してください。</p> <p>⑥ C票(領収証)のみ切り離し、各自で保存してください。A・B票は切り離さずに本学宛に送付してください。</p> <p>※出願受付後、B票に記載された住所宛に受験票を速達便で発送します。</p>
2	卒業(見込)証明書	○			・出身大学において作成したもの。(コピーは不可)
3	修了(見込)証明書		○		・出身大学において作成したもの。(コピーは不可)
4	成績証明書 [学部]	○			・出身大学において作成したもの。(コピーは不可)
5	成績証明書 [大学院]		○		・出身大学において作成したもの。(コピーは不可)
6	研究計画書	○			<p>① 本学所定用紙を使用してください。</p> <p>② 試験区分欄の該当するものを○で囲んでください。</p> <p>③ 氏名、入学後の研究テーマを記入してください。編入学を希望する者は、研究計画記入欄に希望する指導教員名を明記してください。</p> <p>④ 志望理由も含め研究計画を記入してください。</p> <p>⑤ 「論文題目」の欄に該当する論文の題目を記入してください。</p>
7	履歴書	○			<p>① 本学所定用紙を使用してください。</p> <p>② 試験区分欄の該当するものを○で囲んでください。</p> <p>③ 写真(カラー)は、タテ4cm×ヨコ3cm(枠なし)で、願書受付日3カ月以内に撮影した写真とします。</p> <p>④ 学歴欄、職歴欄に書ききれない場合は、別紙(A4サイズ)に記入し、添付してください。</p> <p>⑤ 外国人留学生は、外国人受験者用の本学所定用紙を使用してください。</p>

	出願書類	全出願者共通	大学院修了者	外国人留学生	注意事項
8	卒業論文の写し	○			・修士論文の写しを提出する場合は、卒業論文の写しの提出は不要。
9	修士論文の写し		○		・出版した著書、論文がある場合は、そのリストを1部提出してください。(様式は問いません)
10	推薦書	○			① 本学所定用紙を使用してください。 ② 試験区分欄の該当するものを○で囲んでください。
11	健康診断書	○			① 本学所定用紙を使用してください。 ② 試験区分欄の該当するものを○で囲んでください。
12	学費負担計画書			○	① 本学所定用紙を使用してください。 ② 試験区分欄の該当するものを○で囲んでください。 ③ 添付書類(「記入方法について」)に従って記入してください。
13	日本語能力認定書の写し			○	・1級若しくはN1取得者のみ。
14	在留カード			○	・表面、裏面をコピーしてください。

- 注： 1. 入学志願票・受験票は、入学検定料振込依頼書等A～Dまでの書類が併せて一枚綴りとなっています。
2. 出願書類が不備な場合は受理できませんので、出願の際には充分確認してください。
3. 提出する書類はいずれも願書受付日前3ヶ月以内に発行されたものに限りです。
4. 提出する書類は、日本語または英語で書かれたものを提出してください。その他の言語で書かれた書類は、公的機関で証明された日本語または英語の訳文を添付すること。

(3)出願方法 【一般選抜試験・編入学試験共通】

封筒を使用し、「書留便」で郵送してください。出願はすべて郵送により、出願期間内に必着したもののみを受理します。

(4)入学検定料の振込方法および振込期間 【一般選抜試験・編入学試験共通】

本学所定の振込用紙で、下記の振込期間内に指定の銀行へ振り込んでください。ただし、ATM(現金自動預支払機)は利用しないでください。

入学検定料振込期間：

第Ⅰ期募集 2024年 9月 2日(月)～2024年 9月17日(火)

第Ⅱ期募集 2025年 2月 3日(月)～2025年 2月17日(月)

(5)受験上の諸注意 【一般選抜試験・編入学試験共通】

1. 受験生は試験開始10分前には試験場に入場してください。
2. 試験場には受験票、筆記用具を持参し、受験票は机上に置いてください。【一般選抜試験受験者】
3. 第1時限目の試験開始後20分を経過してからの入場は一切認めません。【一般選抜試験受験者】
4. 電話による可否に関する問い合わせには応じません。
5. 試験当日は、最終試験が終了するまで校舎から出られません。
6. 試験当日は、受験者以外は校舎に入れません。
7. 一度提出した書類および入学検定料は理由の如何を問わず返還できません。

※試験当日は、最終試験が終了するまで校舎から出られませんので、昼食は持参してください。

正当な理由無く、無断で校舎から出た場合は、失格といたします。

4. 入学の手続き

(1) 合格発表 【一般選抜試験・編入学試験共通】

本学掲示板に合格者の受験番号を掲示し、受験者に合否通知を郵送します。
合格者には、合否通知とともに入学手続きに必要な書類を郵送します。

(2) 入学料・授業料 【編入学試験・一般選抜試験共通】

入 学 料	授 業 料		合 計
	夏 学 期	冬 学 期	
300,000 円	300,000 円	300,000 円	900,000 円

1. 入学料および授業料の納入方法などについては、合格発表時に送付する書類の指示に従ってください。
2. 入学手続き時の納入金額は、入学料および授業料（夏学期分）の合計 600,000 円となります。
3. 冬学期分授業料の納入時期および納入方法については、入学後に通知します。
4. 一度納入した入学料、授業料は返還できません。但し、入学手続きを完了した者が下記の期日までに入学辞退届（本学所定の用紙）によって申し出た場合は、授業料を返還します。

2025年 3月28日（金） 午後5時まで

※第Ⅰ期募集合格者及び第Ⅱ期募集合格者共通。

※郵送の場合は、同日必着のこと。

※2007年1月4日から、本人確認手続に関する法令の改正により、金融機関において10万円を超える現金の振込みを行う場合には、本人確認書類の提示が必要となります。（ATMでは、10万円を超える現金の振込みができません）。10万円を超える入学料・授業料などの現金振込みの際には、振込みの手続を行う方の本人確認書類（運転免許証、健康保険証、パスポートなど）をご用意のうえ、金融機関の窓口をご利用ください。

(3) 入学手続き期間 【一般選抜試験・編入学試験共通】

1. 手続き期間

〈 第1次手続き 〉 第Ⅰ期募集合格者 2024年10月 4日（金）～2024年10月11日（金）
第Ⅱ期募集合格者 2025年 3月 7日（金）～2025年 3月14日（金）

※上記期間内に手続きを完了しない場合は、合格を取り消します。

〈 第2次手続き 〉 第Ⅰ期募集合格者及び第Ⅱ期募集合格者
2025年 3月21日（金）～2025年 3月28日（金）

※上記期間内に手続きを完了しない場合は、入学辞退として取り扱います。

2. 受付場所 10:00～16:00 （休憩時間 12:00～13:00）

3. 手続き場所 本学事務局

(4) 入学手続きに必要な書類など 【一般選抜試験・編入学試験共通】

入学手続きには、下記の書類などの提出が必要です。

1. 本学所定の書類

- a. 誓約書、保証書（本人、保証人の自筆）
 - b. 住民票の写し
 - c. その他
2. 出身大学の卒業証明書および成績証明書（出願の際、完全なものを提出している者は再度提出する必要はありません）
 3. 写真（カラー）3枚（タテ4cm×ヨコ3cm、枠なし、志願票に貼付した写真と同一のもの）

本学の理念

国際仏教学大学院大学は国際的に活躍しうる仏教研究者を養成するために設立された。

日本の仏教は、本来、国際的であった。わが国に仏教が伝来して以後も、日本は絶えず海外に広く新知識を求めるとともに、日本に根づいた仏教は日本の土壌において開花し、新たな展開を遂げた。この意味において、日本における仏教の歴史そのものが国際的であった。

また、仏教学においても日本は世界に比類ない意義を担っている。仏教教義学の伝統が今日まで連綿として保たれているのみならず、精密な文献学的研究の膨大な蓄積がある。さらに明治開国後、欧米の近代的仏教研究との交流のもとに、わが国の仏教研究は一層充実した。

本学はわが国仏教学のかかる歴史的背景を踏まえて、仏教研究の正道にさらに歩を進めることに貢献したい。

他方、現代文明は人類を地球規模において包みこんでいるにもかかわらず、諸学問の極端な細分化と人間活動の多様化との結果として大量の情報が氾濫しているだけで、生命倫理・環境問題に象徴されるように、人はいかに生きるべきかという人類普遍の根本問題を埋没させてしまっている。

現代の歴史的状況が人類に突きつけているこのような課題に応えるために、キリスト教・イスラム教・ヒンドゥー教・儒教・道教、その他の諸宗教に関する知見を深め、宗教問題について国際的に提言できる人材の育成にも努めたい。

本学の3つの方針

平成23年 2月16日制定

平成28年10月19日改正

◆学位授与方針 (Diploma Policy)

高度な専門知識と様々な研究手法や研究遂行能力および専門分野を超える幅広い視野をもった、研究者として自立して研究活動を成し得る者に博士の学位を授与する。

具体的には、所定の期間在籍し、必要な研究指導を受け、所定の単位を修得し、博士学位論文の審査(論文審査委員会、研究科委員会)および最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。

◆教育課程編成方針 (Curriculum Policy)

仏教学専攻の5年一貫の博士課程として、学生定員を1学年4名とし、5学年で20名の編成による少人数教育を行っている。学生は指導教員のもとで自らの研究計画を練り上げ、それに基づき、研究能力を研鑽し学位論文を作成する。他方で、指導教員による個別指導にとどまらず、他の教員からの意見を聞く機会として、全教員が参加する研究の中間発表の場を設け、研究指導が偏らないよう専攻としての指導体制を敷いている。また、『仙石山仏教学論集』を発行し、在学生在が論文を内外に公表する投稿の機会を設けている。

開講科目は、仏教及び仏教に関連する文化についての研究・演習を行い、専門科目のみならず、関連科目の履修を課し、幅の広い研究能力を養成する。仏教学が関わる地理的領域を考慮し、専門科目においては南・東南アジア、内陸アジア、東アジア、汎アジアの4地域に分けた編成・教員配置をなし、それらの地理的領域に対応させている。

毎年、外国から著名な研究者を客員教授として招聘し、諸外国の研究状況に触れる機会を設けている。また、外国の大学との間で結ばれている学術交流協定に基づき、学生の研究上の必要に応じて諸外国で研鑽できるよう配慮している。

◆入学者受入れ方針 (Admission Policy)

基礎学力を有し、勉学意欲、知的探求心旺盛で、過去から学ぶべきものを確実に修得し、なおかつ新たな知見を創造し、将来への展望を開くことができるような学生を日本国内のみならず世界に求める。

<修得しておくべき知識等の内容・水準>

- (1) 仏教学に関する基礎的知識
- (2) 仏教学関係の原典資料を読解する能力
- (3) 仏教学に関する専門論文を読解する能力

仏教学研究科案内

1. 仏教学研究科の概要

【構成】

本研究科は仏教文献学と仏教文化学の二軸より成っています。この中、仏教文献学とはインドから日本にいたる仏教を典籍に即して文献学的に研究教授し、また仏教文化学とはそれを基礎とした文化現象（美術、儀礼など）を歴史学、宗教学、美術史学、文化人類学の視点を容れて研究教授するものです。

地理的には仏教が発生し、また伝播した地域、即ち南アジア、東南アジア、内陸アジア、東アジアを含み、その各分野に専門研究者が教育の任に当たるほか、外国から仏教学の専門学者を客員教授として招聘し、指導に当たります。この他、本学は仏教が生命倫理、環境問題といった現代的課題にどう取り組むべきかを教員、学生全員で学問的に研究するための特別なセミナーを設けています。

【研究指導】

上のような教育体制のもとで、学生はそれぞれの関心に従って先ず専攻する分野を選びます。具体的には最初の一年次から二年次まではサンスクリット語、パーリ語、チベット語、漢語などの仏教文献の演習に参加し、また諸種の講義を聴講して学問の基礎を修め、所定の単位を取得します。さらに一年次（入学時）より学生はその関心に沿って指導教授を選び、教授と個人的に相談し、特定のテーマを授けられて担当教授の指導の下に五年間で博士論文を完成します。学生が少人数であるため、学生は教員の専門分野において直接的な個人指導を受けることができるのが本研究科の特色です。また、仏教学を外国語で表現できる能力を養成します。

なお、本学は整備された図書館を擁し、内外の他の図書館ともオンラインによって結ばれていますので、研究環境としては極めて充実したものを持っています。

2. 授業科目と担当教員

授業科目

専門科目

- ・ 外国語仏教学論著講読
- ・ 論文指導
- ・ 仏教文献学方法論
- ・ 仏教文化学方法論
- ・ 近現代仏教研究（仏教学と生命倫理）
- ・ 近現代仏教研究（仏教学と環境問題）
- ・ 南・東南アジア仏教文献学研究
- ・ 南・東南アジア仏教文献学演習
- ・ 内陸アジア仏教文献学研究
- ・ 内陸アジア仏教文献学演習
- ・ 東アジア仏教文献学研究
- ・ 東アジア仏教文献学演習
- ・ 汎アジア仏教文化学研究
- ・ 汎アジア仏教文化学演習

関連科目

- ・ 比較宗教・比較文化
- ・ 宗教哲学
- ・ 文化人類学
- ・ 宗教人類学
- ・ 民俗学
- ・ イスラム教研究（イスラム教と神秘主義）

〔教員〕

①最終学歴・学位 ②専門分野 ③担当科目

落合 俊典 (教授)	①佛教大学大学院博士課程 ②東アジア仏教、一切経研究 ③東アジア仏教文献学担当
斉藤 明 (特任教授)	①Ph. D. (オーストラリア国立大学) ②インド仏教思想史、中観思想研究 ③内陸アジア仏教文献学担当
池 麗梅 (教授)	①博士(文学)(東京大学) ②中国仏教史、漢文大蔵経史 ③東アジア仏教文献学担当
デレアヌ フロリン (教授)	①Ph. D. (ハンブルク大学) ②部派仏教、アビダルマ、瑜伽行派 ③南・東南アジア仏教文献学担当
幅田 裕美 (教授)	①Dr. Phil. (フライブルク大学)、Habil. (ミュンヘン大学) ②インド仏教、中央アジア仏教 ③内陸アジア仏教文献学担当
藤井 教公 (教授)	①東京大学大学院博士課程 ②東アジア仏教、日本思想 ③東アジア仏教文献学担当

〔客員教授〕

王 頌 [北京大学教授]

〔非常勤講師〕

宮本 久義	講師	仏教文化学方法論担当 [元東洋大学教授] サンスクリット語担当
土山 泰弘	講師	近現代仏教研究(仏教学と生命倫理・仏教学と環境問題)担当 [前埼玉工業大学教授]
棚橋 訓	講師	文化人類学担当 [お茶の水女子大学教授]
神塚 淑子	講師	仏教学特殊研究担当 [名古屋大学名誉教授]
齊藤 隆信	講師	仏教学特殊研究担当 [元佛教大学教授]
堀内 俊郎	講師	仏教学特殊研究担当 [東洋大学教授]
蓑輪 頭量	講師	仏教学特殊研究担当 [東京大学教授]
宮崎 展昌	講師	仏教学特殊研究担当 [鶴見大学仏教文化研究所准教授]
室屋 安孝	講師	仏教学特殊研究担当 [神戸女子大学教授]
宮田 聖子	講師	日本語Ⅰ、Ⅱ担当 [東京外国語大学非常勤講師]
田戸 大智	講師	古文・漢文読解Ⅰ担当 [早稲田大学非常勤講師]
小島 裕子	講師	古文・漢文読解Ⅱ担当 [東京都立大学非常勤講師]
須藤 龍真	講師	サンスクリット語(中級)担当 [早稲田大学高等研究所講師]
石川 巖	講師	古典チベット語担当 [中村元東方研究所専任研究員]

奨学制度

1. 本学の奨学制度

(1) 奨学金給付（国際仏教学大学院大学奨学金）

1) 応募資格

本学に入学を許可された者および在籍する者で、学業・人物ともに優秀であり、かつ健康で、経済上、学費補助を要する者

2) 給付内容

一般給付；月額 80,000 円の支給

特別給付；月額 180,000 円の支給

3) 給付人数；10名以内（但し、在籍学生数の半数を超えない）

4) 出願時期；4月上旬

5) 返還義務；なし

(2) 授業料減免

学生（正規学生）は、申請により10名を限度とし、授業料の一部または全部を免除されることがあります。（但し、在籍学生数の半数を超えない）

2. 本学以外の主な奨学制度

(1) 独立行政法人 日本学生支援機構 [貸与] [対象：日本人学生]

1) 対象

人物・学業ともに優れかつ健康であって、経済的理由により修学に困難があると認められる者

2) 貸与額（2024年度）

第1種奨学金（無利子）

a. 1年次学生 下記の中から本人が選択する。
（月額 50,000 円、88,000 円）

b. 3年次学生 下記の中から本人が選択する。
（月額 80,000 円、122,000 円）

第2種奨学金（有利子）

下記の中から本人が選択する。
（月額 50,000 円、80,000 円、100,000 円、130,000 円、150,000 円）

(2) インナートリップ国際交流協会奨学金給付外国人留学生 [給付] [対象：外国人留学生]

1) 応募資格（抜粋）

- ① 原則として、35歳まで。
- ② 修士課程1年以上に在籍する正規学生。
- ③ 東南アジア、中南米諸国の国籍を有する者。
- ④ 月額7万円以上の奨学金を受けていない者。
- ⑤ 国際理解と国際親善に関心をもち、かつ、貢献すること。

2) 支給額 月額 50,000 円（2024年度）

（支給月数：24ヶ月間）

(3)日本国際教育支援協会(JEES)留学生奨学金 [給付] [対象:外国人留学生]

1. 応募資格(抜粋)

- (1) 当該年度4月に正規生として在籍する私費外国人留学生。
- (2) 学業成績優秀である者。(成績評価係数の基準有り)
- (3) 月額5万円以上の奨学金を受けていない者。
- (4) ボランティア活動や国際交流活動等の実績、又はこれらの活動への意欲のある者。
- (5) 奨学金受給終了後も協会に対して近況等を連絡する意思のある者。

2. 支給額 月額 40,000円

3. 支給期間 2年間

4. 出願期間 令和6(2024)年6月上旬

※詳細は、各機関のホームページをご覧ください。

※その他のご質問等は、本学事務局教務・学生課までお問い合わせください。

宿 泊 施 設

四方寮(寄宿舍)

学生の利用に供するため、大学の敷地内に寄宿舍を設けています。学生定員20名に対し、概ね10部屋の寮室があります。なお、利用は外国人留学生に限ります。

個人情報の取り扱いについて

出願にあたって記載頂いた個人情報は、国際仏教学大学院大学事務局が責任を持って管理いたします。

お知らせ頂いた住所、氏名、その他の個人情報は、入学者の選抜に関する事以外には利用いたしません。

個人情報の取り扱いに関するご質問は、下記までお問い合わせください。

TEL : 03-5981-5271

9:00~17:00 (土日、祝祭日、年末年始を除く)

E-mail : student@icabs.ac.jp

履 歴 書 (令和7・2025年度)

受験番号

※

試験区分 一般選抜 [I期] ・ 一般選抜 [II期] ・ 編入学 [I期] ・ 編入学 [II期] *該当するものを○で囲むこと。

ふりがな				写真貼付 (4 cm × 3 cm)
氏 名	姓 名			
生年月日	年 月 日生 (歳)	男 ・ 女	既婚 ・ 未婚	
本 籍	都 ・ 道 ・ 府 ・ 県	E-mail		
電話番号	— —	FAX	— —	
現住所	〒			

学 歴			
年 月 入学			高校
年 月 卒業			
年 月 入学			大学
年 月 卒業・卒業見込 退学	学部	学科	
年 月 入学・編入学			大学大学院
年 月 修了・修了見込 退学	研究科	専攻 修士課程 博士課程	
年 月 入学			大学大学院
年 月 修了・修了見込 退学	研究科	専攻 修士課程 博士課程	
年 月 入学・編入学			
年 月 卒業・卒業見込 修了・修了見込・退学			
年 月 入学・編入学			
年 月 卒業・卒業見込 修了・修了見込・退学			
職 歴			
年 月～	年 月		
年 月～	年 月		
年 月～	年 月		
年 月～	年 月		

(様式1-1) 日本人受験者用

国際仏教学大学院大学

※印欄は記入しないこと。

履 歴 書 (令和7・2025年度)

受験番号

※

試験区分 一般選抜 [I期] ・一般選抜 [II期] ・編入学 [I期] ・編入学 [II期] *該当するものを○で囲むこと。

フリガナ					写真貼付 (4 cm × 3 cm)
氏 名	姓	名	他		
生年月日	年 月 日生 (歳)	男・女	既婚・未婚		
国 籍	在留資格				
在留期限	年 月 日まで	E-mail			
電話番号	— —	FAX	— —		
現住所	〒				

学 歴		
年 月～ 年 月	小学校：	
年 月～ 年 月	中学校：	
年 月～ 年 月	高 校：	
年 月～ 年 月 卒業・卒業見込・退学	大 学：	大学 学科
年 月～ 年 月 修了・修了見込・退学	大学院（修士課程）：	
年 月～ 年 月 修了・修了見込・退学	大学院（博士課程）：	
年 月～ 年 月 卒業・卒業見込・修了・修了見込・退学		

職 歴		
年 月～ 年 月		
年 月～ 年 月		
年 月～ 年 月		

保 証 人			
ふりがな 氏 名	姓 名	続 柄	
本籍・国籍	在留資格		
住 所	〒		
電話番号	生年月日	年 月 日生 (歳)	
職 業	勤 務 先 電話番号		

(様式1-2) 外国人受験者用

国際仏教学大学院大学

※印欄は記入しないこと。

年 月 日

推 薦 書

国際仏教学大学院大学長 殿

所属機関名 _____

推薦者職位 _____

推薦者氏名 _____

印 _____

貴大学院学生募集要項の記載事項に基づき、下記の者を推薦いたします。
記

出願者氏名 _____

推薦理由

(様式 3)

※印欄は記入しないこと。

健康診断書

(令和7・2025年度) 入学志願者

試験区分	一般選抜 [I期] ・ 一般選抜 [II期] ・ 編入学 [I期] ・ 編入学 [II期]	*該当するものを○で囲むこと。
------	---	-----------------

ふりがな 氏名	受験番号		※
	判定	※ 検査不要 ・ 要 (再・精) 検査	
性別	男 ・ 女	生年月日 :	年 月 日 生 歳
現住所	〒		

診断事項

身長	. cm	胸部 エ ツ ク ス 線	直接 ・ 間接 No. () 年 月 日撮影
体重	. kg		
視力	右 ()		
	左 ()		
聴力	右 : 正常・異常 ()		
	左 : 正常・異常 ()		
尿検査	蛋白 ()	所見 :	
	糖 ()		

その他の 疾病及び 異常	有 ・ 無	主な 既往症	
--------------------	-------	-----------	--

診断の結果上記の通り相違ないことを証明する。

年 月 日

住所 (所在地)

医療機関名

医師の氏名

印

(様式4)

国際仏教学大学院大学

記入上の注意

1. 太線枠内は志願者本人が記入すること。
2. ※印欄は記入しないこと。

学費負担計画書 (令和7・2025年度)

受験番号	※
------	---

試験区分	一般選抜 [I期] ・ 一般選抜 [II期] ・ 編入学 [I期] ・ 編入学 [II期]	*該当するものを○で囲むこと。
------	---	-----------------

氏名：(姓)	(名)	(他)	国籍：
--------	-----	-----	-----

現住所： 〒

学費負担方法

- | | | |
|------------------------|------------------------|----------------------|
| 1. () 申請者本人の負担 | 2. () 奨学金 | 3. () 本国の家族・親戚からの送金 |
| 4. () 日本在住の家族・親戚からの送金 | 5. () 日本在住の友人・知人からの送金 | |

学費負担方法の内容

○奨学金

奨学金名称：	申請予定・申請中・採用決定
給付・貸与	給付(貸与)期間： 年 月～ 年 月 円(月額)

○滞在中支援をしてくれる人(上記学費負担方法3.~5.の内容)

滞在中、支援をしてくれる人が日本にいますか： はい・いいえ	続柄：
-------------------------------	-----

氏名：	国籍：
-----	-----

現住所： 〒

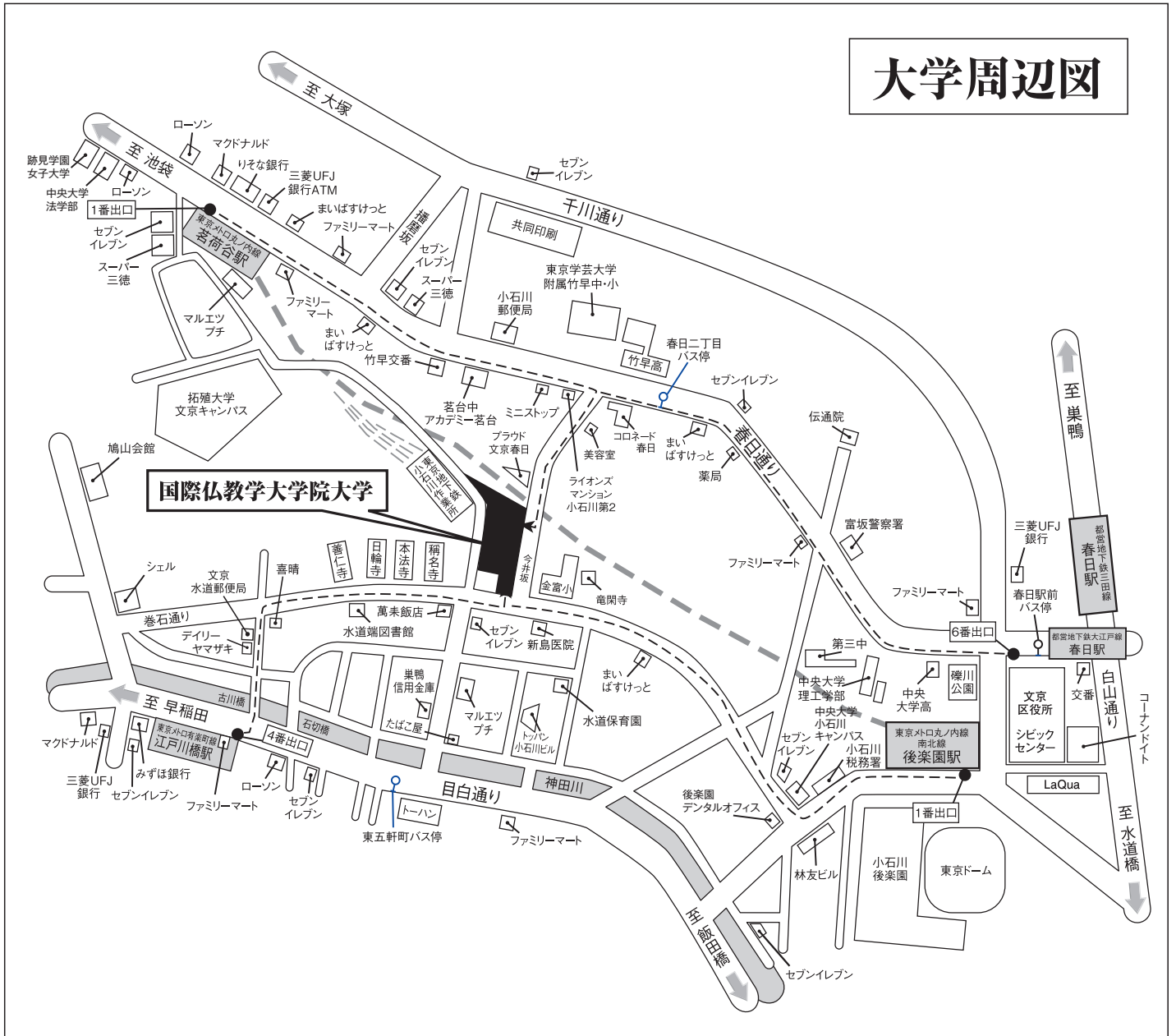
電話番号：	Fax：
-------	------

E-mail：	生年月日： 年 月 日生 (歳)
---------	-------------------

職業：	支援予定額： 円(月額)
-----	--------------

※

大学周辺図



<最寄りの交通機関>

- 東京メトロ有楽町線「江戸川橋駅」下車4番出口より徒歩10分
- 東京メトロ丸の内線「茗荷谷駅」下車1番出口より徒歩12分
- 東京メトロ丸の内線・南北線「後樂園駅」下車1番出口より徒歩16分
- 都営地下鉄三田線・大江戸線「春日駅」下車6番出口より徒歩16分
- 都営バス 東五軒町バス停より徒歩5分
飯田橋駅前発【飯64】小滝橋車庫（早稲田経由）行（乗車約5分）
- 都営バス 春日二丁目バス停より徒歩5分
春日駅前発【都02】大塚駅前行（乗車約5分）
【都02乙】池袋駅東口行（乗車約5分）
御徒町駅前発【都02】大塚駅前行（乗車約15分）
茗荷谷駅前発【都02】錦糸町駅前行（乗車約5分）
大塚駅前発【都02】錦糸町駅前行（乗車約15分）

国際仏教学大学院大学

事務局 〒112-0003 東京都文京区春日 2-8-9
電話:03-5981-5271
Fax :03-5981-5283
E-mail:student@icabs.ac.jp
URL: <https://www.icabs.ac.jp>